

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			(1)(2) 理念、基本方針は、職員へは冊子の配布や掲示、読み合わせなどをし、保護者へはえんだよりや情報誌等で周知している。更なる周知に向け、理念・方針に触れたクラスだよりやドキュメンテーションの作成やそれらを用いた園内研修を行っていききたい。 (4) 子どもの人権尊重やプライバシー、不適切保育の防止については、一人一人の職員が活動の中で日々考えて行動している。どのようなことが不適切保育なのか園内研修等を行ってさらなる理解をしていきたい。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか（不適切な保育の防止についての理解）		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか（全体的な計画）		○			(1)(2) 今年度は年齢別でカリキュラムを作成したが、来年度異年齢保育をさらに進めていく為、カリキュラムの見直しを行っていく。 (3) 運動会、表現会については異年齢で行う内容を取り入れた。職員間で密に話し合い、一人ひとりの主体性を大切にしたい行事を行えた。夏祭りにおいては子どもの主体性を大切にしながらもアンケートにあった保護者の参加についても検討していく。 行事があることで子どもたちが目標に向かって探求したり達成感を味わったりする姿が見られる。一方で主体性のとらえ方の違いによって子どもの育ちより見栄え重視にならないよう、再度職員間で行事のあり方や進め方、考え方を共通理解していく。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			(1) 他クラスの子ども健康面・けがの有無や経過について把握出来ていなかったこともある為、会議の場だけではなく、日頃から全園児の状況を把握できるようにキッズビューなどのツールの利用を再確認していく。 (2)(9) 子どもが安定感を持って過ごすには、安心できる環境が必要である。それぞれの職種の業務内容等を全職員が周知するとともに、職員一人一人が意識して子どもと関わるようにしていく。 今年度は、職員の休業が重なりクラス間での職員の入替わりがあった為、子どもたちにも保護者にも不安感を与えてしまった。特に0.1歳児は情緒の安定や信頼関係、愛着形成の土台となるので、安心できる保育環境を作っていく。 (3) 子どもが楽しく食事ができるように、給食職員からの発信でセレクト給食を楽しんだり、行事食の由来を知ったり、食材に触れたりして食育活動ができた。 (5) 環境の見直しは定期的に必要であり、今の環境に満足せず、様々な方法を試し、より良い物を目指していく。 (8) 暑さや、熊の出没によって十分に園外活動が出来なかった。その為、バス園外や他園、他機関との交流を増やして、多様な体験を保障していく。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか			○		
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか			○		(11)配慮を要する子に対しては加配の保育者がつき配慮されている。加配対象ではない子・困り感のある子に關しての関わりにも配慮が必要であるため、職員間で協力して見ていく。
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			(12)小学校とは、校内や行事の見学を行い、園での様子はえんだよりや情報誌などを通して行っている。小学校1年生のカリキュラムと園の年長児の年間指導計画や全体的な計画を交換し、連携を図っている。
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか	○				(1)全年齢で保育参加や参観を行い、保護者懇談会の機会も設けた。春には希望者と個別の懇談を設け話し合う機会となった。保育参加や参観の中で、子ども主体の教育保育や異年齢の交流を見て頂き好評を得ている。
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			(2)虐待等に対応できる体制をとり、登園時間を過ぎて連絡のない場合等は保護者に連絡を入れている。必要に応じて支援機関や専門機関と連携をとっている。
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			(3)今年度の前半は職員配置で開催できないことも多かったが、後半は月3~4回開いたり、情報誌を発行したりして広場の様子を発信できた。校下内での出生数が激減しているが、校下外でも必要としている家庭があるので、地域にこだわらず開催していき、これからも地域の子育て家庭の支援となるように努めていきたい。
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				(1)(2)看護師の専門性を活かし、保護者や保育者と連携しながら感染症予防対策等を行っている。
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか			○		(3)今年度は安全点検の不十分による事故があった。このようなことがないように点検時だけでなく日頃から環境に不備がないかをしっかりと見ていく。不備があった場合はすぐに報告し、職員全員で把握するだけでなく、必要に応じてすぐに修繕することで安全な環境を作っていく。
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			(5)施設長は日々の業務の大変さや子どもたちの育ち、成長を共に喜び合える場を大切にしたいと考えている。職員から寄せられる声には真摯に耳を傾け、検討したり、話し合いの機会を持つなどしてより一層、園運営に生かしていけるよう取り組みを進めていく。
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			(9)(12)個人情報適切に扱い、守秘義務が守られるようにしている。個別の相談には、個室のミーティングルームを使用し配慮している。
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			(13)異年齢での生活や日々の活動について、保育者同士が主体的に話し合いを行い、改善を繰り返して進めている。以上児・未満児共に週末に話し合ったり、全体での話し合いの場も設け園全体で改善しながら取り組めるようにしている。
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか	○				(14)自己評価結果は全職員が読み込み、職員会などの会議で議題を明確にして次年度の計画に盛り込んでいく。
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						